

友の会通信

洋学の歴史を楽しく学ぶ
津山洋学資料館友の会

2020 October No.5



新館開館 10 周年記念企画展「シーボルトと岡山の洋学者たち」開幕 !!
洋学資料館が新館に移転して 10 周年を迎えたのを記念して開催する企画展。
洋学の発展に大きな役割を果たしたシーボルトの生涯と、シーボルトと交流
した岡山ゆかりの洋学者たちについて紹介しています。11 月 8 日(日)まで開
催中です。ぜひご来場ください！

CONTENTS

令和 2 年度総会報告	2
冬季企画展を開催します	
拓本に挑戦してみよう 参加者募集!!	
植栽ボランティア参加者募集!!	3
第 33 回友の会史跡見学会を開催します	
Q これなあ〜に？	
職員紹介	4
企画展などの情報がホームページに掲載されています	
編集後記	

令和2年度総会報告 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、役員会で代替開催

5月に書面でご報告しましたが、令和2年度の総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、役員による書面審議を行い、提案通り承認されました。

その後、四役会や役員会を開き、県内外の感

染状況等を注視しながら、事業計画の趣旨を生かした活動を検討しています。

内容については、「友の会通信」等でお知らせします。会員の皆様方には、引き続きご理解とご協力をお願いします。

冬季企画展を開催します

生誕190年記念 仁木永祐と靱山鬘をめぐる人々

江戸時代後期から明治時代にかけて美作地域の医療・教育・政治に献身的に取り組んだ仁木永祐（1830～1902）は、今年で生誕190年を迎えます。本展では、永祐の足跡と郷校・靱山鬘をめぐる人々について紹介します。

会期 令和2年11月28日（土）

おもな展示資料

靱山鬘で使われた書見台、拍子木、出席帳など約50点



仁木永祐肖像画
(仁木家資料)

■靱山鬘とは？

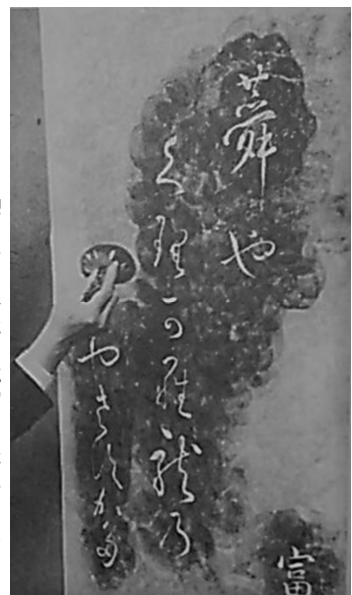
靱山村（現在の津山市靱保）の医師仁木永祐は、1860（万延元）年、医業の傍ら靱山鬘の創設に携わり、1869（明治2）年には、養父隆助の跡を継ぎました。靱山鬘では、主に漢学や医学の教育が行われ、米井源治郎（麒麟ビール創業者の一人）、井手毛三・安黒基（自由民権運動家）、中島大次郎（苦田郡医師会長）ら、明治の世を担う人々が集まりました。



仁木永祐頭彰碑（津山市靱保）

2011（平成23）年には地元町内会や市民有志、友の会も参加して整備事業を行いました。

拓本に挑戦してみよう 参加者募集！！



『拓本の基礎知識』（柏書房 から）

旅先で見つけた歌碑を写し取ったり、墓誌を調べるときに、拓本ができたらどんなに楽しく、また役立つことか。

今回は、身近な道具を使って、簡単に拓本を取る方法を実践します。この機会に拓本に挑戦してみませんか。

開催日 令和2年11月8日（日）

午後1時30分～3時30分

会場 津山洋学資料館集合

定員 15名

参加費 500円（材料代）

※日本手拭いをご持参ください。

募集 電話で左記事務局までお申し込みください。先着順で定員になり次第締め切ります。

【申込先】 津山洋学資料館友の会事務局

☎0868(23)3324

植栽ボランティア参加者募集!!

10月31日(土) 午後2時〜3時

10月初旬、洋学資料館の「薬草の小径」で、木瓜の枝にたくさんの実がついていました。珍しいことです。もしかしたら、一昨年からの2回、友の会有志で行っている植栽ボランティアの成果かもしれません。

木瓜の実には咳止めや疲労を回復する手助けをしたり、滋養強壮や胃腸を整える効果があるといわれています。風邪を予防する効果も期待できます。しかし、実を生で食べると、下痢や腹痛を起こしてしまうことがあるため、木瓜酒やジャムに加工して食べることが一般的なようです。木瓜以外にも、たくさん薬草になる草木の成長を感じられる活動です。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

10月31日(土)は少雨決行で、草取りや草刈り、剪定などを行います。必要な道具は、各自でご持参くださいますよう、お願いいたします。



活動の様子



木瓜の実

第33回友の会史跡見学会を開催します! 募集開始は11月21日(土)から「津山城下の史跡を訪ねて(城東編)」

今年の研修バス旅行は、新型コロナウイルス感染症防止のため、残念ながら中止しましたが、史跡見学会は開催することに決定しました!

今回は歩いて洋学資料館周辺に残る史跡―華岡門人の野間栄齋と渡邊貞順の墓所や、明治屋創業者の磯野計が建てた磯野氏先祖累代の墓所など―を訪ねます。

11月中旬に詳細な募集チラシをお送りし、11月21日(土)午前9時からお電話で応募受けを開始します。皆さまお誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください!

開催日 令和2年12月6日(日)

参加費 2500円(予定)

定員 20人(先着順)

募集 令和2年11月21日(土)午前9時から受け付けを開始します。先着順で定員になり次第、締め切らせていただきます。



↑ 華岡門人 野間栄齋夫婦墓 (千光寺境内)

コース

洋学資料館(9時30分出発) ↓ 千光寺(野間栄齋の墓、渡邊貞順の墓、檜形の墓、樽形の墓) ↓ 大信寺(磯野家の墓、太田家の墓) ↓ 津田真道生家跡 ↓ 植原六郎左衛門屋敷跡 ↓ 川村三兄弟生家跡 ↓ 箕作阮甫旧宅 ↓ (昼食) ↓ 箕作家墓所 ↓ 洋学資料館(13時解散予定)

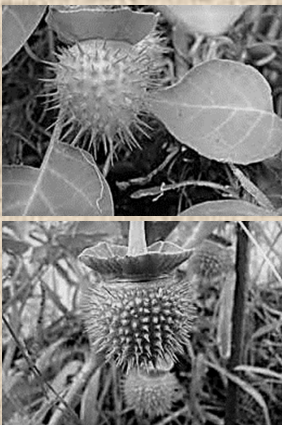


↑ 上之町出身 津田真道 ↓ 磯野氏先祖累代之墓 (大信寺境内)



Qこれなあ〜に?

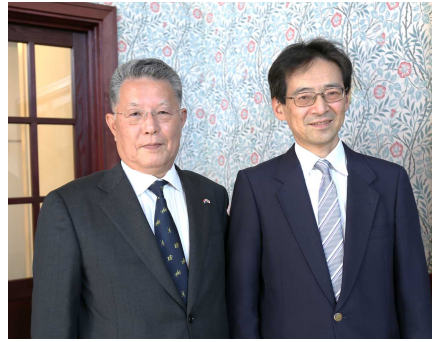
ヒント：華岡青洲



答えは4頁

職員紹介

4月1日付人事で、下山元館長が名誉館長を委嘱され、仁木館長が文化財センターへ異動して、後任として小島館長が着任しました。お二人に今後の抱負を伺いました。



下山名誉館長と小島館長

（下山名誉館長）

本年4

月1日付で、津山洋学資料館名誉館長に就任いたしました。洋学を活かした町づくりをコンセプトに、学会誘致や他都市との連携を模索し、これまでに以上に「津山の洋学」を全国に知っていただくよう、スタッフと協力して進めていく所存です。また、友の会の顧問として、会の発展にも寄与できればと願っています。

（小島館長）

仁木前館長の後任として、洋学資料館長を拝命しました。洋学資料館での勤務は二度目で、前回の勤務時には新館建設事業にも携わらせていただきました。その新館もオープンからはや10年が経過し、友の会は間もなく創立40周年を迎えますが、諸先輩方のご努力と友の会の皆さまのご支援による、有形無形さまざまな恩恵の上に、私たちの仕事成り立っていると実感します。館長職の重責に立ちまわくむような思いですが、微力ながら心を込めて職務に当たり、より良い方向へ歩む努力を重ねたいと思いますので、友の会の皆さまには温かい目でご指導・ご助言いただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願いたします。

企画展などの情報が

ホームページに掲載されています

洋学資料館ではパソコンのホームページで最新の情報を発信しています。ホームページでは「津山洋学」と検索してください。

また、このホームページから洋学資料館のフェイスブックへリンクされています。こちらでは企画展の情報はもちろん、菓草の小径、中庭の四季の花の写真などが投稿されています。フェイスブックへ登録していなくても閲覧できますので、のぞいてみてください。



洋学資料館ホームページ
<http://www.tsuyama-yougaku.jp/>

ここからフェイスブックにリンクしています！

A 3頁のクイズの答え

正解は「チョウセンアサガオの実」でした。とても不気味な形をしていますね。このチョウセンアサガオを原料に麻酔薬を開発したのが紀州の華岡青洲でした。

編集後記

コロナ禍は私たちに多くの学びを与えてくれました。歴史を紐解く大切さもそのひとつです。この度と同様の危機を、医学や各界の進歩に繋げてきた先人の叡智。それを知ると同時に、そこに郷土出身者が多く関わっていることに驚かされます。

知っているようで知らない郷土の歴史。今回は企画展、史跡見学会とともに地元に着しています。郷土を知るよい機会になるのではないのでしょうか。新しい発見が待っています。ぜひ洋学資料館にも、各行事にも足をお運びください。

「友の会通信 第5号」をお届けできることに感謝。(W)

津山洋学資料館友の会通信 第5号

令和2年10月
編集・発行

津山洋学資料館友の会
事務局 〒708-0833
津山市西新町5

津山洋学資料館内
☎0868-23-3324